

鮮明に覚え
旅立った。
んが夫の視
鼻を貼って
れを大きく
よんだ。今
まで生きる
約束違反
ている。

糸島市志摩師吉

梶原のり子(73)

● 2022.12.5

「難民」考える講演会

弁護士、認定制度の問題指摘

西南大で

名古屋出入国在留管理
局で2021年3月、スリランカ人女性
ウイシユマ・サンタマ
りさん(当時33歳)が

収容中に死亡した問題
など日本の入管・難民
問題を考える講演会が
4日、福岡市の西南学
院大で開かれた。収容
者に窮状を聞く活動を
する駒井知会弁護士
が、日本に着いた難民
が直面する問題を解説
し、約30人が耳を傾け
た。

同大で全学部横断的
に国際難民法などを学
ぶゼミ「KARDIA
NOIA」(カルダイ



日本の入管・難民問題について講演する
駒井弁護士

アノイア)の主催。駒
井弁護士は日本の難民
認定率は「諸外国と比
べて極端に少なく『不
認定制度』であること
は明らか」と批判。難
民認定制度は「法務省
と出入国在留管理庁か
ら独立した第三者審査
機関が必要で、絶対に
改めるべきだ」と強調
した。

体調が悪化して治療
を訴えるウイシユマさ
ん直筆の書面も紹介さ

れた。ゼミ生で外国語
学部2年の真島響子さ
ん(19)は「収容の長期
化でこれほど精神状態
が壊れるのかと驚い
た。中村学園女子高
3年、重留小春さん
(18)は「こんな問題が
日本で起きているとは
信じられない。クラス
のみんなにも伝え、難
民を支援するため多く
の言語を学びたい」と
話した。

【竹林静】

巨大モザイクアート披露

大野城市制施行50周年記念式典

大野城市の市制施行
50周年記念式典が4
日、同市の大野城まど
かびあ大ホールで市民
と関係者ら約560人
が出席して開かれた。

旧大野町が1972
年4月、3万人市制特
例法で市に昇格した。
国道3号と2本の鉄道
路線が南北に走るなど
交通の便に恵まれ、市
制施行当時に約3万6

000人だった人口は
10万人を超えている。

井本宗司市長は式辞
で「我々に課された使
命は、先人たちが紡ぎ
上げてきた古里・大野
城への思いを受け継
ぎ、更に進化させなが
ら未来へつなげていく
ことだ」と述べた。

式典では市民が半年
をかけて4万5000
個のペットボトルキャ